まちニュース

来年度の「出荷」へ
養殖エビ初水揚げ
小名浜海星高校

食用として広く使われているバナメイエビの出荷を目指し、陸上養殖の実証実験に取り組んでいる小名浜海星高校の生徒たちは五月九日、初の水揚げを行った。

バナメイエビは、実が柔らかく甘みが強いクルマエビの一種。葛尾村に設立されたHANERU葛尾社が、来年度の出荷に向けて陸上養殖事業を展開しており、同校が実証に協力している。

昨年十二月に同社から稚エビ約二万匹の提供を受け、教室内十五の水槽で塩分濃度やエサの量を変えながら飼育してきた。

養殖したバナメイエビを水揚げする生徒たち

海洋科の二、三年生二十人が実習で管理を担い、二百匹ほどが平均体長一二センチの成エビに成長。

この日は、エビを生徒たちが網ですくい、氷水の中へ。冷水でしめ、殻をむくなどし、エビチリに調理。初水揚げの〝成果〟として、招待した同社社員とともに味わった。

今回の養殖の成功率は一％で、事業目標は三〇～四〇％。六月から再度実証に取り組み、達成に貢献していく。

東日本国際大
ウ留学生の3人が
昌平高で英語助手

平鎌田、東日本国際大学は五月八日、戦災から逃れ同大に留学中のウクライナ人学生三人が、同大附属昌平高校の英語助手（ALT）就任を発表し、初めての授業を同校で行った。

ALTは小中高等学校などの外国語授業で、日本人教師の補助を行うため外国語助手が派遣される制度。ウクライナ人学生は、それぞれ週に一回、同校の普通科、特進科の生徒らに生きた英語を指導する。

英語でコミュニケーションを図るダリアさんと生徒ら

初回の授業を担当したダリア・スツジンスカさん（二五）は、英語による自己紹介などを生徒と交互に行った後、英語による伝言ゲームなどを通して、交流を深めた。

ダリアさんは、「ウクライナ語だけでなく、得意な英語、中国語、大学で学んだ日本語の能力を生かして、将来、オンラインの語学学習サービスを立ち上げたい」と、語っていた。

同大は今後、市内の公立校への派遣なども含めて、ウクライナからの留学生の就職サポート、自立支援を積極的に行っていくという。

『震災保存版』を発刊
市内の主な書店で発売中

新たに編集、発刊した第三弾の『震災特別号』

本誌は、東日本大震災一カ月後の二〇一一年四月に『震災臨時号』、半年後の八月の第二弾『震災総集編』に続き、この五月、新たに編集した第三弾『いわき地方復刻保存版　震災特別号（グラフ編）』の発刊に踏み切り、現在、発売中。

第3弾　読者の強い要望に対応

多くの読者、市民から「今年で震災から十二年が過ぎたが、あの日のことをしっかり記憶にとどめ、今後の教訓にしたい」など、新たな発刊を要望する声が相次いで編集部に届いていたこともあり、再編集の作業を進めてきた。

今回の第三弾は、表紙のタイトルに〝復刻―保存版〟の文字を追加。また、先に発刊した折の記事の一部訂正、加筆、さらには今春三月十一日前後に市内各地で実施された追悼式、イベント関連の写真なども数十枚掲載した。

『震災特別号』は、フルカラー、A4・五十六ページ、値段は税込み千円として好評発売中。市内の主な書店、編集部（電話〇二四六―二九―二四二四）でも対応している。

保険調剤
プログリーン
筑後種クロレラ
ヤクケンバイオリンク
酵華
サメミロン
カネボウ化粧品
リサージ
“ふれ合いの健康ひろば”
エンゼル薬局
いわき市小名浜玉川町東18−16
Tel.Fax.58−3603　自宅58−4465
AM9:30～PM6:30 定休日・毎週日曜、祝日